

②

国際自然環境アウトドア専門学校 シラバス

科目名	ホームルーム	授業形態	対面授業・遠隔授業併用	授業の方法		講義	
担当教員	遠藤晋/向況		実務授業の有無	×			
対象学科	全学科	対象学年	1	開講時期	通年		
必修・選択	必修	単位数		時間数	16時間		
授業概要、目的、授業の進め方	<p>①実習、学校行事等のオリエンテーションを通し、カリキュラムにおける実習等の体系的な位置づけを理解する。</p> <p>②学内共同作業として、マテリアルルームの学校備品チェック、校舎清掃を行ない、公共奉仕のマインドを養う。</p> <p>③学科別オリテ、海外研修オリテ、特別授業等を通して、業界や専門性の理解、進路の明確化を促す。</p>						
学習目標 (到達目標)	学科・学年間の学生間交流や共有物利用のルール順守、進路面談等を通して、自立した人間として生活できるようになる						
テキスト・教材・参考図書・その他資料	資料（実習実施要項など）を適宜配布						
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考				
1	海外研修オリエンテーション（406/407）		12月に実施する海外研修のガイダンス、参加希望調査				
2	学科別HR①（MP→406/407 OES→409 NGC→408）		学科別に分かれ、指定の教室で活動				
3	実習オリエンテーション（5月、6月分）		履修する実習別にガイダンスを受講				
4	学科別HR②（MP→406/407 OES→409 NGC→408）		学科別に分かれ、指定の教室で活動				
5	学科別HR③（MP→406/407 OES→409 NGC→408）		学科別に分かれ、指定の教室で活動				
6	学科別HR④（MP→406/407 OES→409 NGC→408）		学科別に分かれ、指定の教室で活動				
7	実習オリエンテーション（7月分）		履修する実習別にガイダンスを受講				
8	学科別HR⑤（MP→406/407 OES→409 NGC→408）		学科別に分かれ、指定の教室で活動				
9	学科別HR⑥（MP→406/407 OES→409 NGC→408）		学科別に分かれ、指定の教室で活動				
10	実習オリエンテーション（11月分）		履修する実習別にガイダンスを受講				
11	学科別HR⑦（MP→406/407 OES→409 NGC→408）		学科別に分かれ、指定の教室で活動				
12	学科別HR⑧（MP→406/407 OES→409 NGC→408）		学科別に分かれ、指定の教室で活動				
13	就職研修オリエンテーション		12月に実施する就職研修のガイダンス				
14	学科別HR⑨（MP→406/407 OES→409 NGC→408）		学科別に分かれ、指定の教室で活動				
15	実習オリエンテーション（1月分）		履修する実習別にガイダンスを受講				
16	就職状況報告会		3年生が就職活動状況を発表				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意				
出席率、授業姿勢等、総合的に評価を行います。 出席率80%未満の場合、原則として成績評価は行わない。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			学科別活動：山岳プロ学科（MP）、野外教育・アウトドアプロ学科（OES）、自然ガイド・環境保全学科（NGC）				
実務経験教員の経歴							

②

国際自然環境アウトドア専門学校 シラバス

科目名	就職実務Ⅰ	授業形態	対面授業・遠隔授業併用	授業の方法		講義	
担当教員	遠藤 晋	実務授業の有無		×			
対象学科	野外教育・アウトドアスポーツ/ キャンプビジネス/自然ガイド・自然環境保全/ 自然環境保全/山岳プロ/アウトドア	対象学年	2	開講時期		後期	
必修・選択	必修	単位数		時間数		16時間	
授業概要、目的、授業の進め方	自己PR、履歴書の作成や模擬面接等、就職活動に必要な一連のプロセス、必要書類について学ぶ。						
学習目標 (到達目標)	就職活動のプロセスを理解し、主体的に就職活動を進めることができる。						
テキスト・教材・参考図書・その他資料	◆ライフデザインナビ2「ビジネス適性診断」Web ◆動画で学ぶ就活ナビ(eラーニング教材) ◆その他資料(ワークシート)を適宜配布						
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考				
1	就職活動の動機づけ (ビジネス適性診断、進路希望調査)		■動画で学ぶ就活ナビ(eラーニング教材)を視聴 ■ビジネス適性診断の実施 ■進路希望調査票に記入				
2	就職活動の準備とスタート		■動画で学ぶ就活ナビ(eラーニング教材)を視聴 ■ワークシート記入				
3	自分と職業を理解する(自己PR)①		■動画で学ぶ就活ナビ(eラーニング教材)を視聴 ■ワークシート記入				
4	自分と職業を理解する(自己PR)②		■動画で学ぶ就活ナビ(eラーニング教材)を視聴 ■ワークシート記入				
5	面接試験対策(自己PR、一般教養、学校生活)①		■動画で学ぶ就活ナビ(eラーニング教材)を視聴 ■ワークシート記入				
6	面接試験対策(自己PR、一般教養、学校生活)②		■動画で学ぶ就活ナビ(eラーニング教材)を視聴 ■ワークシート記入				
7	自分と職業を理解する・面接試験対策(志望動機)		■動画で学ぶ就活ナビ(eラーニング教材)を視聴 ■ワークシート記入				
8	情報収集・企業研究		■動画で学ぶ就活ナビ(eラーニング教材)を視聴 ■ワークシート記入				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意				
出席率、授業姿勢、ワークシートの完成度等、総合的に評価を行います。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			■毎回ノートPCを持参してください。				
実務経験教員の経歴	i-nac生涯学習室担当。民間で、4年間自然体験活動の企画運営と野外教育活動の提供に従事。						

②

国際自然環境アウトドア専門学校 シラバス

科目名	就職実務Ⅱ	授業形態	対面授業・遠隔授業併用	授業の方法		講義	
担当教員	遠藤 晋		実務授業の有無	×			
対象学科	野外教育・アウトドアスポーツ/ キャンプビジネス/自然ガイド・自然環境保全/ 自然環境保全/山岳プロ/アウトドア	対象学年	2	開講時期	後期		
必修・選択	必修	単位数		時間数	16時間		
授業概要、目的、授業の進め方	自己PR、履歴書の作成や模擬面接等、就職活動に必要な一連のプロセス、必要書類について学ぶ。						
学習目標 (到達目標)	就職活動のプロセスを理解し、主体的に就職活動を進めることができる。						
テキスト・教材・参考図書・その他資料	◆ライフデザインナビ2「ビジネス適性診断」Web ◆動画で学ぶ就活ナビ(eラーニング教材) ◆その他資料(ワークシート)を適宜配布						
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考				
1	就職活動の動機づけ (ビジネス適性診断、進路希望調査)		■動画で学ぶ就活ナビ(eラーニング教材)を視聴 ■ビジネス適性診断の実施 ■進路希望調査票に記入				
2	就職活動の準備とスタート		■動画で学ぶ就活ナビ(eラーニング教材)を視聴 ■ワークシート記入				
3	自分と職業を理解する(自己PR)①		■動画で学ぶ就活ナビ(eラーニング教材)を視聴 ■ワークシート記入				
4	自分と職業を理解する(自己PR)②		■動画で学ぶ就活ナビ(eラーニング教材)を視聴 ■ワークシート記入				
5	面接試験対策(自己PR、一般教養、学校生活)①		■動画で学ぶ就活ナビ(eラーニング教材)を視聴 ■ワークシート記入				
6	面接試験対策(自己PR、一般教養、学校生活)②		■動画で学ぶ就活ナビ(eラーニング教材)を視聴 ■ワークシート記入				
7	自分と職業を理解する・面接試験対策(志望動機)		■動画で学ぶ就活ナビ(eラーニング教材)を視聴 ■ワークシート記入				
8	情報収集・企業研究		■動画で学ぶ就活ナビ(eラーニング教材)を視聴 ■ワークシート記入				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意				
出席率、授業姿勢、ワークシートの完成度等、総合的に評価を行います。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			■毎回ノートPCを持参してください。				
実務経験教員の経歴	i-nac生涯学習室担当。民間で、4年間自然体験活動の企画運営と野外教育活動の提供に従事。						

②

国際自然環境アウトドア専門学校 シラバス

科目名	特別授業	授業形態	対面授業・遠隔授業併用	授業の方法		講義	
担当教員	外部講師		実務授業の有無	×			
対象学科	全学科	対象学年	1	開講時期	前期		
必修・選択	必修	単位数		時間数	8時間		
授業概要、目的、授業の進め方	① 外部講師の講演を受講し、業界の仕事内容や専門スキル、人材ニーズを理解するとともに、社会人としての心構えを学ぶ ② インターンシップや就職活動に向けたモチベーションの向上を図る ③ 夏季休暇を有意義に過ごすための意識付けを図る						
学習目標 (到達目標)	業界が求めるニーズ（人間性、技術、知識）を理解し、 授業内容やインターンシップの必要性を再確認する。						
テキスト・教材・参考図書・その他資料	テキスト（外部講師準備）						
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考				
1	各業界における先駆者や業界を開拓している方からの講演		講演形式、筆記用具、				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意				
出席率と授業態度により評価を行う。 出席率80%未満の場合、原則として成績評価は行わない。 成績評価基準は、優(80点以上)・良(70点以上)・可(60点以上)・不可(59点以下)とする。							
実務経験教員の経歴	外部講師は各事業にて実務経験あり。講演、講義経験あり。						

②

国際自然環境アウトドア専門学校 シラバス

科目名	アウトドア探求Ⅰ	授業形態	対面のみ	授業の方法	演習
担当教員	遠藤晋/向滉		実務授業の有無	○	
対象学科	大学併修研究科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	168
授業概要、目的、授業の進め方	アウトドア分野での実務レベルのスキルを磨くことを目的としています。この科目では、アウトドア活動を通じて自然環境の理解と尊重、アウトドアスキルの習得、リーダーシップとチームワークの発展、安全性とリスク管理を重視します。学生が柔軟に学びを進め、自らの興味や能力に合わせて専門知識とスキルを深めます。				
学習目標 (到達目標)	探求を進める過程を通し、自分がクラス現実社会や仕事として携わる業界に関する知識・スキルを深める。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	適宜提示				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	学生毎の探求プロジェクト (教員が個別に対応する)		演習		
2	学生毎の探求プロジェクト (教員が個別に対応する)		演習		
3	学生毎の探求プロジェクト (教員が個別に対応する)		演習		
4	学生毎の探求プロジェクト (教員が個別に対応する)		演習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率と授業態度により評価を行う。 出席率80%未満の場合、原則として成績評価は行わない。 成績評価基準は、優(80点以上)・良(70点以上)・可(60点以上)・不可(59点以下)とする。			学生個人の希望進路や興味分野によって携わるプロジェクトが変わります。授業時間外での調査・作業が必要となる可能性があります。		
実務経験教員の経歴	遠藤：専門学校教員歴3年、JMGA自然ガイドステージⅡ 向：大学院にて生態学に関する研究を4年間遂行				

②

国際自然環境アウトドア専門学校 シラバス

科目名	アウトドア探求Ⅱ	授業形態	対面のみ	授業の方法	演習
担当教員	遠藤晋/向混		実務授業の有無	○	
対象学科	大学併修研究科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	168
授業概要、目的、授業の進め方	アウトドア分野での実務レベルのスキルを磨くことを目的としています。この科目では、アウトドア活動を通じて自然環境の理解と尊重、アウトドアスキルの習得、リーダーシップとチームワークの発展、安全性とリスク管理を重視します。学生が柔軟に学びを進め、自らの興味や能力に合わせて専門知識とスキルを深めます。				
学習目標 (到達目標)	探求を進める過程を通し、自分がクラス現実社会や仕事として携わる業界に関する知識・スキルを深める。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	適宜提示				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	学生毎の探求プロジェクト (教員が個別に対応する)		演習		
2	学生毎の探求プロジェクト (教員が個別に対応する)		演習		
3	学生毎の探求プロジェクト (教員が個別に対応する)		演習		
4	学生毎の探求プロジェクト (教員が個別に対応する)		演習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率と授業態度により評価を行う。 出席率80%未満の場合、原則として成績評価は行わない。 成績評価基準は、優(80点以上)・良(70点以上)・可(60点以上)・不可(59点以下)とする。			学生個人の希望進路や興味分野によって携わるプロジェクトが変わります。授業時間外での調査・作業が必要となる可能性があります。		
実務経験教員の経歴	遠藤：専門学校教員歴3年、JMGA自然ガイドステージⅡ 向：大学院にて生態学に関する研究を4年間遂行				

②

国際自然環境アウトドア専門学校 シラバス

科目名	インターンシップ実習Ⅰ	授業形態	対面授業のみ	授業の方法	実習
担当教員	受入企業・団体		実務授業の有無	○	
対象学科	自然ガイド・環境保全、自然環境保全	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	120時間
授業概要、目的、授業の進め方	「インターンシップ実習」では、自らの専攻、将来のキャリアに関連する就業体験を行います。目的は次の4点です。①学習意欲の向上と学習目的の明確化、②高い職業意識を持った職業人の養成、③専門分野での実務能力の向上、④アウトドア業界における人的ネットワークの構築				
学習目標 (到達目標)	①実際のビジネス現場での体験を通じて、自分の適性を確認できる。 ②自然体験分野および環境調査・保全分野の業界における就業体験を通し、業界理解を深め、進路選択に役立てることができる。 ③社会人としての挨拶、マナーの重要性を理解できる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	■インターンシップ実習の手引き、■学生調書 ■志望動機書 ■その他配布資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	インターンシップガイダンス、受入先の希望調査		希望調査シートに第3希望まで記入し、担当教員に提出。		
2	受入先の決定、学生調書、インターンシップ動機書の作成・提出		学生調書(excel)、動機書(word)をメールで担当教員に提出、教員が校閲後返却。完成後、受入先に提出。		
3	受入先への連絡(挨拶、訪問日時・持ち物等の問合せなど)		学生自身が受入担当者に電話連絡		
4	受入先における研修(7月下旬から9月中旬の期間で実働15日以上)		研修期間中、毎日、インターンシップ日誌に記入し、受入先担当者に提出。		
5	研修後、インターンシップ報告書を作成。		報告書を担当教員に提出。後期オリエンテーションの学科別活動で発表。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率、インターンシップ日誌の内容(業務遂行レベル)、インターンシップ報告書の内容、報告会での発表、受入先担当者による成績評価等、総合的に評価を行います。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			■事前に必ず傷害保険およびインターンシップ活動賠償責任保険に加入すること。 ■研修期間：実働15日間以上を確保すること ■研修中、毎日日誌を作成し、受入先担当者に提出、確認印をもらうこと。インターンシップ終了後、全日誌を教員に提出 ■事後報告書の提出 ■受入先では人に接する態度、言葉遣いなどの基本的なマナーや、服装・身だしなみ等に気を配ること。 ■無断欠席や遅刻は厳禁である。		
実務経験教員の経歴	インターンシップ受入先企業・団体の担当スタッフによる。				

②

国際自然環境アウトドア専門学校 シラバス

科目名	インターンシップ実習Ⅱ	授業形態	対面授業のみ	授業の方法	実習
担当教員	受入企業・団体		実務授業の有無	○	
対象学科	自然ガイド・環境保全、自然環境保全	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	120時間
授業概要、目的、授業の進め方	「インターンシップ実習」では、自らの専攻、将来のキャリアに関連する就業体験を行います。目的は次の4点です。①学習意欲の向上と学習目的の明確化、②高い職業意識を持った職業人の養成、③専門分野での実務能力の向上、④アウトドア業界における人的ネットワークの構築				
学習目標 (到達目標)	①実際のビジネス現場での体験を通じて、自分の適性を確認できる。 ②自然体験分野および環境調査・保全分野の業界における就業体験を通し、業界理解を深め、進路選択に役立てることができる。 ③社会人としての挨拶、マナーの重要性を理解できる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	■インターンシップ実習の手引き、■学生調書 ■志望動機書 ■その他配布資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	インターンシップガイダンス、受入先の希望調査		希望調査シートに第3希望まで記入し、担当教員に提出。		
2	受入先の決定、学生調書、インターンシップ動機書の作成・提出		学生調書(excel)、動機書(word)をメールで担当教員に提出、教員が校閲後返却。完成後、受入先に提出。		
3	受入先への連絡(挨拶、訪問日時・持ち物等の問合せなど)		学生自身が受入担当者に電話連絡		
4	受入先における研修(7月下旬から9月中旬の期間で実働15日以上)		研修期間中、毎日、インターンシップ日誌に記入し、受入先担当者に提出。		
5	研修後、インターンシップ報告書を作成。		報告書を担当教員に提出。後期オリエンテーションの学科別活動で発表。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率、インターンシップ日誌の内容(業務遂行レベル)、インターンシップ報告書の内容、報告会での発表、受入先担当者による成績評価等、総合的に評価を行います。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			■事前に必ず傷害保険およびインターンシップ活動賠償責任保険に加入すること。 ■研修期間：実働15日間以上を確保すること ■研修中、毎日日誌を作成し、受入先担当者に提出、確認印をもらうこと。インターンシップ終了後、全日誌を教員に提出 ■事後報告書の提出 ■受入先では人に接する態度、言葉遣いなどの基本的なマナーや、服装・身だしなみ等に気を配ること。 ■無断欠席や遅刻は厳禁である。		
実務経験教員の経歴	インターンシップ受入先企業・団体の担当スタッフによる。				

専門教育科目

講義科目

授業科目名	経営の行動指針（土光敏夫語録に学ぶ）	科目コード	配当年次	単位
担当教員	内藤 英俊	EH96	3・4	2
科目の概要				
<p>土光敏夫氏は、旧石川島播磨重工業（現 I H I）、旧東京芝浦電気（現東芝）の社長を経て1974年に経団連の会長に就任。石油ショック後の日本経済の安定化に尽力し、1981年には政府の第二次臨時行政調査会長として行政改革を進めた実業家である。高潔・実直な人柄や有言実行の行動力、無欲で質素な生活などで一般にも広く親しまれ、1988年の没後も各界のリーダーに大きな影響を与えている。</p> <p>この科目では、土光氏の名言から、その経営哲学を理解し、マネジメントの真髓をつかんでいくとともに、現在でも変わらないリーダーとしての行動指針を学習していく。</p>				
科目の到達目標				
<p>①土光氏の経営思想を理解することで、マネジメントの要諦を具体的につかむことができる。</p> <p>②名経営者の金言の意味するところを理解し、自職場や日常生活における行動の改善につなげることができる。</p>				
テキスト	『新訂・経営の行動指針』土光 敏夫, 産業能率大学出版部, 2009年			
テキストの読み方				
<p>①テキストは土光氏の旧東京芝浦電気時代の発言をまとめたものではあるが、その内容は時代を超越し、現在の混迷する時代に最適の指針となっている。</p> <p>②テキストに書かれていることを理解するのはもちろん、それを日常の仕事や生活に置き換えて解釈し、自分自身の反省を踏まえ、今後の自分の行動変革を考えながら読むことが大切である。</p>				
単位修得の方法				
<p>レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。</p>				

授業科目名	教養としてのワインの知識		科目コード	配当年次	単位
担当教員	岩田 雅子		EJ18	3・4	2
科目の概要					
<p>近年ワインは日本においても非常に身近なものとなった。日常生活を彩るものとして、また、ビジネス接待のコミュニケーションにもワインの存在は大きなものである。難しいことを抜きにしてワインを楽しむこともできるが、知識があれば、その楽しみや喜びは一層大きなものとなる。</p> <p>本科目では、ワインを取り巻く歴史や文化、マナーを知り、教養を高めていく。</p>					
担当教員の 実務経験等	<p>[担当教員の实務経験] イタリアソムリエ協会認定ソムリエ。イタリア現地でワインを学び、レストランにおけるワインサービスの20年の実務経験を持つ。 また、ホテル、レストランをはじめ民間企業、官公庁で接遇・教養担当として、国際マナーや接遇サービスを指導している。</p> <p>[実務経験に基づく項目] ワインの楽しみ方、テイasting実践、レストランやパーティにおけるグローバルマナー、ビジネスシーンにおける振る舞い方。 ワインに関する基礎知識や歴史、文化を踏まえた教養とその生かし方。</p>				
科目の到達目標					
<p>①ワインを日常生活の中で楽しむ、「楽しみ方の基本」を知り、教養を身につけることができる。</p> <p>②基本的なブドウ品種やワインの種類、産地を学ぶことができる。</p>					
テキスト	『知識ゼロからのワイン入門』弘兼 憲史, 幻冬舎, 2000年				
テキストの読み方					
<p>①テキストに示されたワインの基本と楽しみ方を身近な経験と結びつけたりしながら、知識を得る。</p> <p>②レストランでワインをスマートにオーダーし、楽しむマナーを習得する。</p> <p>③ワインの品種や産地の知識を深め、ワインや食文化の教養を高めることを意識してテキスト内容を理解する。</p>					
単位修得の方法					
<p>①レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。</p> <p>または、</p> <p>②スクーリングを受講し、合格すれば2単位を修得できる。この場合、レポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。</p>					

専門教育科目

講義科目

授業科目名	教養としての日本酒の知識	科目コード	配当年次	単位
担当教員	遠上 正一	EJ17	3・4	2

科目の概要

「日本酒は、米と水からつくる」と言っても日本酒を説明していることにならない。米のデンプンを糖化させてその糖分をアルコールに変えるのは微生物の働きである。さらに米は精米され、工程を経て発酵中の“醪（もろみ）”という液体をこすことではじめて清酒になるのである。また日本酒の持つ特徴を知られば「原料米そのものを思わせる純米酒が、乳製品をまるやかな味わいにする」などの提案もできる。この科目ではこれまでのぼんやりとした知識を図や写真によって体系的にわかりやすく学習し、日本酒づくりの醍醐味、特徴など日本酒の魅力を自身の言葉で語れる知識の習得を目指す。

科目の到達目標

- ① 日本酒づくりの原料、製造方法、成分等の表示、歴史を理解し、各種日本酒の特徴を学習することで料理と相性の良い日本酒の知識を習得できる。
- ② 上記①で学習した知識をベースに自分なりに体系化し、日本酒の魅力を自分の言葉で語るような知識を習得できる。

テキスト	『日本酒の基』日本酒サービス研究会・酒匠研究会連合会, 料飲専門家団体連合会
------	--

テキストの読み方

- ① 日本酒製造の主な原料、製造手順、ラベル表示や歴史、テイスティング、サービス・プロモーション等、まず全体像を大まかにつかむ。
- ② 章ごとに深く読み直し、日本酒の特徴や魅力を整理しながら読む。

単位修得の方法

- ① リポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。または、
- ② スクーリングを受講し、合格すれば2単位を修得できる。この場合、リポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。

専門教育科目

講義科目

授業科目名	ソムリエに学ぶ ことばの表現力	科目コード	配当年次	単位
担当教員	岩田 雅子	EJ16	3・4	2
科目の概要				
<p>人は深く意味を考えずに常套句を使ったり、先入観にとらわれて物ごとの本質を正しく表現できなかつたりすることが多い。ソムリエはワインを五感でとらえて、「言葉」という道具で表現し、「伝える」ことが求められている。ワインや食事の表現にとどまらず、言葉の数を増やし、豊かな表現力を身につけることは、ビジネスで役立つこともある。また、日常生活をより豊かなものにすることもできる。その表現力を鍛えるプロセスを学ぶ。</p>				
科目の到達目標				
<p>①何気なく使っていた不完全な表現や、言葉における先入観に気づくことができる。 ②五感を磨き、それを言葉に置き換える「表現力を鍛えるトレーニング法」を修得することができる。</p>				
テキスト	『言葉にして伝える技術—ソムリエの表現力』田崎 真也, 祥伝社, 2010年			
テキストの読み方				
<p>①3つのパターンの問題表現が自己の日常生活にないかを振り返りながら読む。 ②味わいを言語化する例を知り、自己の感覚に当てはめてみる。 ③テキストの例になぞらえてトレーニングを実践し、身近なものをポジティブな表現で言葉にしながらか読み進める。</p>				
単位修得の方法				
<p>レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。</p>				

専門教育科目

講義科目

授業科目名	仕事に役立つ雑談力	科目コード	配当年次	単位
担当教員	杉浦 斉	EJ15	3・4	2
科目の概要				
<p>人と人とのつながりやより良い人間関係をつくることは、直接のコミュニケーションの機会が減少している現実の社会の中で切実に求められている。ここでは、私たちの人間関係づくりで重要な役割を担っている雑談に焦点を当てる。雑談を通じて、相手の興味や関心を理解し、親しみや信頼感を増すきっかけをつくることができるように、相手と対面する場面での雑談のステップや具体的な場面での雑談の方法について学び、雑談力を磨いていく。</p>				
科目の到達目標				
<p>①雰囲気を和やかにして相手と打ち解け、より良い人間関係をつくり、ビジネスを円満に進めるための雑談力を習得できる。</p> <p>②人と接する場面でどのように対応するかを学ぶことで、初対面の人や共通の話題のない人やタイプの異なるさまざまな人と、雑談をきっかけとした関係づくりができる。</p>				
テキスト	『チャンスをつかむ！仕事に役立つ雑談力』大嶋 利佳, 産業能率大学, 2013年			
テキストの読み方				
<p>①テキストでは、相手と対面する場面での雑談のステップが示されるが、話し方のコツを押さえながら読み進めていくこと。</p> <p>②テキストには、具体的な場面や状況での雑談の方法が実際の会話形式で示されるが、自分がもし同じような場面や状況に直面したら、どのように対応するかを考えながら学習してほしい。</p> <p>③テキストで学んだ雑談の方法や話し方のコツを、身近な相手との会話の中や初対面の人とのやりとりの中で試行してみしてほしい。</p>				
単位修得の方法				
<p>レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。</p>				

授業科目名	交渉のデザインと実践スキル		科目コード	配当年次	単位
担当教員	大神 賢一郎		EJ14	3・4	2
科目の概要					
<p>近年、権利意識の高まりや価値観の多様化などを背景として、企業などの組織間のみならず個人間においても“交渉”をする必要に迫られる機会が多くなってきている。その一方でこれまでの学校教育では、相手を説得したり、相手と交渉したりするということを体系的に学ぶ機会はほとんどなかった。本科目では、相手を説得するための基本的な交渉の流れを理解するとともに、交渉に必要な説得話法や、意思決定を促す話法、そして交渉シナリオの作成方法などを学習する。</p>					
担当教員の 実務経験等	<p>[担当教員の実務経験] 大手企業勤務の後、コンサルティング会社などを経て産業能率大学総合研究所にてマーケティング、説得・交渉力等の企業コンサルティング、社員研修等に長く携わる。</p> <p>[実務経験に基づく項目] 交渉戦略の立案、事前の情報収集と現状認識、交渉構造のコントロール、着地点の判断、複数の選択肢からの意思決定、戦略ストーリーの構築、交渉のプレゼンテーション 等</p>				
科目の到達目標					
<p>①交渉に苦手意識を持たず、積極的に交渉に臨むことができる。 ②相手を説得するための話法とそれらを使い、交渉シナリオを作成することができる。</p>					
テキスト	『交渉のデザインと実践スキル』産業能率大学総合研究所交渉研究プロジェクト, 産業能率大学出版部, 2011年				
テキストの読み方					
<p>①理論編は交渉の進め方を学ぶ上で必要な、基礎的な考え方についてまとめられている。まず理論編を通読し全体の概要を理解すること。 ②理論編は内容が一般論として記述されているので、自分のこれまでの体験に照らし合わせてみて、自分であればどうするのか？などを想像しながら読み進めること。 ③実践編は、“出たとこ勝負”の場当たりの交渉に陥ることのないように、相手を説得するストーリーを描く（デザインする）ための各種の手法を紹介している。キチンと精読し一つひとつの手法をしっかりと身に付けること。</p>					
単位修得の方法					
<p>①レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。 または、 ②スクーリングを受講し、合格すれば2単位を修得できる。この場合、レポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。</p>					

専門教育科目

講義科目

授業科目名	幕末に学ぶリーダーシップ		科目コード	配当年次	単位
担当教員	岩井 善弘		EH29	3・4	2
科目の概要					
<p>現代社会では、秒進分歩のスピードで、構造的な変化が進んでいる。同様の時代が幕末であり、坂本龍馬や西郷隆盛などが我が国を変革し、近代に向け脱皮させた。変革の時代の今こそ、幕末リーダー達の考え方や行動には、学ぶことが多い。</p> <p>本科目では、幕末・維新の時代背景の知見を深め、動乱を変革の時代に位置付け、変革適応に導いた先人達の経験や知恵を変革期のリーダーシップの視点から学習する。</p>					
科目の到達目標					
<p>①リーダーシップの関連用語を理解し、テキストで紹介する指導者のリーダーシップの特徴やその背景となる生い立ち、形成過程などを理解できる。</p> <p>②テキストの読み込みに合わせて、自分の体験（自己効力感や人間観・組織観等の価値観を得た体験）を振り返り、自己のリーダーシップ観を構築できる。</p>					
テキスト	<p>『幕末リーダーに学ぶリーダーシップ』金井 壽宏(監), 産業能率大学, 2009年 『幕末リーダーワークブック』産業能率大学総合研究所 セルフラーニングシステム開発部, 産業能率大学, 2009年</p>				
テキストの読み方					
<p>①各章に出てくるリーダーシップに関する用語の意味を正しく理解し、説明できるようにする。</p> <p>②各章に出てくる人物のリーダーシップ発揮の違いを分析・理解すると同時に、なぜその違いが生じているのか、彼らのリーダーシップ形成過程の違いを把握する。</p> <p>③また、リーダーシップ発揮上の落とし穴にどのような事項があるのかを理解し、そうならないために何をしていけば良いのかを把握する。</p> <p>④テキスト登場人物に共通するリーダーシップ形成過程を読み解き、自分自身の経験を振り返ることで自己のリーダーシップ観を形成する。</p>					
単位修得の方法					
<p>レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。</p>					

専門教育科目

講義科目

授業科目名	三国志に学ぶビジネス戦略	科目コード	配当年次	単位
担当教員	欧陽 菲	EH63	3・4	2

科目の概要

現代のビジネス環境がどれだけ複雑に見えたとしても、その状況を作り出す人間の行動や心理には歴史的普遍性がある。
 本科目では、中国の古典「三国志」を題材として、成功者である英雄だけでなく、敗者からも学ぶという複眼的な視点を持ちながら、現代のビジネス戦略に有効な知識やスキルを習得する。

科目の到達目標

- ①教養として三国志の人物像と主なエッセンスを理解できる。
- ②三国志のエッセンスから、成功するビジネスの普遍原理をつかみ、さまざまな方向から自分の仕事や自分自身のあり方について考えることができる。

テキスト 『「三国志」に学ぶ激動の時代のビジネス戦略』 守屋 淳 他, 産業能率大学, 2011年

テキストの読み方

- ①三国志とは何かを理解し、登場人物の関係を把握する。
- ②リーダーとしての起業戦略、人材戦略、組織戦略、競争戦略について有効な知識と原理を知る。
- ③自己マネジメント力を高めるための知恵とスキルを習得する。

単位修得の方法

レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。

専門教育科目

講義科目

授業科目名	老舗に学ぶ生き残る経営	科目コード	配当年次	単位
担当教員	鶴岡 公幸	EH53	3・4	2
科目の概要				
<p>多くの企業が誕生すると同時に多くの企業が廃業に追い込まれる厳しい経営環境の下でも、時代を超えて愛され続けている老舗企業がある。低成長といわれる今日、長年にわたって盛業を続ける老舗企業の成功要因を探ることは、今後の企業経営を考える上で極めて有益である。</p> <p>本科目では、日本を代表する老舗の食品企業数社の事例から、その特徴を特にマーケティングの視点で検討して共通要素を抽出し、その成功要因について考察、学習を行う。</p>				
科目の到達目標				
<p>①老舗の経営を理解することで、老舗のマーケティングの要諦を具体的につかむことができる。</p> <p>②名経営者のインタビュー内容が意味するところを理解し、自職場や日常生活における行動の改善につなげることができる。</p>				
テキスト	『老舗 一時代を超えて愛される秘密』 鶴岡 公幸, 産業能率大学出版部, 2012年			
テキストの読み方				
<p>各章のテーマの内容を、事例を読むことで理解を深める。具体的には 序章「老舗とは何か」、1章「老舗のマーケティングの特徴」、2章「和魂洋才」、 3章「地域密着型マーケティング」、4章「コアコンピタンスに基づいた製品開発」、 5章「顧客の生涯価値」、6章「ブランディング」、7章「ジングル」、8章「伝統の継承と進化」、 9章「老舗企業の今後の課題」、10章「老舗から何を学ぶか」 について理解する。</p>				
単位修得の方法				
<p>レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。</p>				

専門教育科目

講義科目

授業科目名	プロ経営者たちのケーススタディ	科目コード	配当年次	単位
担当教員	本村 秀樹	EJ21	3・4	2
科目の概要				
<p>経営を学ぶために優れた経営者を題材とすることは、活きた知識を習得するために有益である。 この科目では、日本で数少ないプロと呼べる7人の経営者の実例を通して、単に「すばらしい経営者だ」という感想を持つだけでなく、「なぜあの経営者はすごいのか」について、プロ経営者のあるべき姿を整理しながら学ぶ。また、ビジネスの成果は財務業績を抜きには語れない。ケースを通して経営数字の意味を実践的に学ぶ。</p>				
科目の到達目標				
<p>①テキストに登場する経営者の手腕の優れている点を、プロ経営者の必要条件に則して理解できる。 ②経営者の意思決定や活動に関連する経営数字の意味が理解できる。</p>				
テキスト	『なぜあの経営者はすごいのか』山根 節,ダイヤモンド社,2016年			
テキストの読み方				
<p>①「はじめに」にある「プロ経営者」の条件等について理解し、目次を参照して全体像をつかむ。 ②登場する7人の経営者の事例を読み、「はじめに」に記載されている内容を参照し、それぞれの経営手腕のどこがどのように優れているのか整理しながら読む。 ③事例に関連する経営数字の意味を確認しながら読む。 ④その上で、自分の身近なあるいは興味のある事例に当てはめて考えてみる。</p>				
単位修得の方法				
<p>レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。</p>				

専門教育科目

講義科目

授業科目名	しなやかな心をつくるメンタルマネジメント	科目コード	EH98	配当年次	3・4	単位	2
担当教員	宮本 実果						
科目の概要							
<p>この科目では、トップアスリートやトップアーティストから、ビジネスで生かせるメンタルマネジメントを学ぶ。どんな分野でも共通する、成果を発揮するための思考方法がある。第一線で活躍してきた「一流」が語る成功の秘訣に触れ、経営学、心理学の視点から科学的なメンタルマネジメントの方法論を理解する。そして、ビジネスシーンで役立つしなやかで芯の強い心を育んでいく。</p>							
科目の到達目標							
<p>①本来の力を引き出すために一流たちが実践してきたメンタルマネジメントの特徴を「行動」「思考」「イメージ」という3つの切り口から再確認できる。</p> <p>②アスリート・アーティストから学んだことを振り返り、「メンタルマネジメント」を自分の仕事にどのように生かしていくかを考え、仕事において目指すべき「しなやかな心」を明確化できる。</p>							
テキスト	『しなやかな心をつくるメンタルマネジメント』高畑 好秀(監), 産業能率大学, 2014年						
テキストの読み方							
<p>①テキストの学習アップに記載されている Chapter 1 基本概念を最初に理解する。</p> <p>②次に、Chapter 2～Chapter 7 のテキストに記載されているトップアスリート・アーティストの体験談を読み、メンタルマネジメントの秘訣を学ぶ。</p> <p>③その上で、Chapter 8 の一流に学ぶメンタルタフネスの極意からトップアスリート・アーティストに共通する「しなやかさ」を分析し、それらを自分の身近な事象に置き換えて考えてみる。</p>							
単位修得の方法							
<p>レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。</p>							

専門教育科目

講義科目

授業科目名	知的思考の技術	科目コード	配当年次	単位
担当教員	大神 賢一郎	EH97	3・4	2

科目の概要

ICT(情報通信技術)の進展により現代に生きる私たちの生活は飛躍的に便利になった一方で、自分の頭を使って考えることが少なくなったと言われる。

本科目では、そうした頭を使って“考える”ことが少なくなってしまった、あるいは苦手になってしまった現代人に“上手に考える”ための思考技術を身につけてもらうことを目的としている。“考える”とはどういうことなのか、そして“上手に考える”ための作法(ルール)とは何なのかを学習する。

科目の到達目標

- ①パソコンやネット等に頼らず、自ら進んで自分の頭で考えることができる。
- ②自分の思考プロセスに誤りがないかチェックして修正する、など自分の思考をコントロールする方法を身につけ、“上手に考える”ことができる。

テキスト

『知的思考の技術』産業能率大学総合研究所 知的思考の技術研究プロジェクト, 産業能率大学出版部, 2007年

テキストの読み方

- ①序章ではメタ認知と7つの思考ステップについて解説している。本テキストの基本となる考え方を示しているのによく読んで理解すること。
- ②第一章から第七章までは、7つの思考ステップについて順番に解説している。それぞれの章では、思考ステップごとに陥りやすい失敗、上手に考えるためのポイントなどを示しているの、頭の中で整理しながら読み進めてほしい。
- ③各章とも様々な事例を挙げているが、ただこれを読んで理解するのではなく、自分の経験に置き換えたり、その場で自分が当事者になったつもりで考えたりして、実際に“自分の頭で考える”ことを心がけながら読むこと。

単位修得の方法

レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。

専門教育科目

講義科目

授業科目名	人材マネジメント論	科目コード	配当年次	単位
担当教員	平野 賢哉	EJ47	3・4	2
科目の概要				
<p>人材マネジメントとは、組織が経営目的を達成するために、人材を育て活用する仕組みをつくり、運用していく活動全般を指す。企業活動においては人事労務管理あるいは人的資源管理（HRM：Human Resource Management）として意識される領域であるが、組織の中の人間行動の側面（行動科学）にも焦点を当てた構成となっている。また、ワーク・ライフ・バランスや次世代リーダーの育成など今日的な課題についても理解を深めていく。</p>				
科目の到達目標				
<p>①経営学をベースとした人材マネジメントの枠組みを理解し、説明できる。 ②人的資源管理の制度と施策を理解し、説明できる。 ③組織の中の人間行動を理解し、説明できる。</p>				
テキスト	『HRM Essence』鈴木 竜太 他, 産業能率大学			
テキストの読み方				
<p>①テキストは、各項目が見開き2ページにコンパクトに収納されており、人的資源管理や組織行動における様々な概念や考え方の理解を図る。 ②各章の冒頭にはケースが用意されている。各章の学習開始前に一読し、学習後にケース内で取り上げられた事項と各章の内容を結びつけて考えることで学習効果を高めて欲しい。</p>				
単位修得の方法				
<p>①レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。 または、 ②スクーリングを受講し、合格すれば2単位を修得できる。この場合、レポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。</p>				

専門教育科目

講義科目

授業科目名	マーケティング論	科目コード	配当年次	単位
担当教員	野木村 忠度	EA47	3・4	2

科目の概要

マーケティングは、「モノを売る仕組み」といわれるが、相互作用しながら、価値を創造する活動でもある。その活動は、企業と顧客、病院と患者、学校と生徒など、歩み寄りで築くどの関係性でもいえることである。
本科目では、マーケティングの基本的な内容とその体系を把握できるようになることを狙いとする。

科目の到達目標

- ①マーケティングの基本的な知識と基本的な用語の意味を理解し、説明できる。
- ②重要なポイントについての理解が十分にでき、説明できる。
- ③応用が利くまで十分な理解がなされ、活用できる。

テキスト 『Marketing Essence』 寺嶋 正尚(監), 産業能率大学, 2016年

テキストの読み方

- ①テキストは、マーケティング理論と実践について書かれたものである。
- ②テキストを通じて、市場問題を解決するためには、マーケティングの基本的な考え方が、いかに重要であるかを認識する。
- ③マーケティング理論は、どのように現実に役立つのかを考えながら読むことが求められる。

単位修得の方法

- ①レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。
または、
- ②スクーリングを受講し、合格すれば2単位を修得できる。この場合、レポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。

専門教育科目

講義科目

授業科目名	Perfect ビジネスコミュニケーション	科目コード	EJ13	配当年次	3・4	単位	2
科目の概要							
<p>ビジネスにおけるコミュニケーションを以下の3つの項目で習得する。 「コミュニケーションの方法」「効果的な会議の進め方」「成功するプレゼンテーション」である。それは、1対1、集団によるもの、1対多のコミュニケーションであり、あらゆるビジネスシーンにおいて、効率よく成果が上がるポイントを学ぶ。コミュニケーション力を高めることで、仕事の達人になることにつなげていく。</p>							
科目の到達目標							
<p>①コミュニケーション力を高め、ビジネスにおいてよりよい人間関係づくりができる。 ②仕事の成果につながるプレゼンテーション能力を身につけることができる。</p>							
テキスト	『Perfect ビジネスコミュニケーション』 荒巻 基文, 産業能率大学出版部, 2009年						
テキストの読み方							
<p>①コミュニケーションのメカニズムを理解し、話の聴き方、伝え方を学び、真のコミュニケーションの理解を深める。 ②「会議とは何か」を理解し、理想の会議を実現するための知識を習得する。 ③仕事の成果につながるプレゼンテーション成功のための準備から実施までを、十分に理解しながら読み進めていく。</p>							
単位修得の方法							
<p>レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。</p>							

専門教育科目

講義科目

授業科目名	経営戦略論	科目コード	配当年次	単位
担当教員	木村 栄宏	EA45	3・4	2

科目の概要

経営戦略は、あらゆる企業で策定されており、企業がさらなる発展・成長をするには、経営幹部のみならず、すべての構成員が経営戦略の枠組みを共有化することが重要である。
本科目では、経営戦略が企業経営上どのような意義をもつのかを理解するとともに、具体的な事例に触れながら戦略を概説し、戦略的発想をもって実践に取り組める知識・スキルを習得する。

科目の到達目標

- ①テキストに出てくる経営戦略の基本的な考え方やキーワードについて理解し、大まかなフレームワークを説明することができる。
- ②現実の動きと照らし合わせながら、各企業の経営戦略の基本を推察し、意見を述べることができる。

テキスト	『Strategy Essence』日置 健, 産業能率大学
------	--------------------------------

テキストの読み方

- ①このテキストでは、企業経営における戦略のエッセンスが各節見開き2～4ページにまとめられており、大変わかりやすい。
- ②テキストすべてがエッセンスであるため、全部を理解する必要があるが、日常の身の回りの製品や普段の生活の中に応用できないかといった観点で各項目を見直すことで理解が深まる。
- ③経営戦略に関する基本的な概念や考え方、ツールなどはすべて今後の生活に応用可能、という視点を持ってテキストを読んでほしい。

単位修得の方法

- ①レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。
または、
- ②スクーリングを受講し、合格すれば2単位を修得できる。この場合、レポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。

専門教育科目

講義科目

授業科目名	経営管理論	科目コード	配当年次	単位
担当教員	欧陽 菲	EB62	3・4	4

科目の概要

経営管理は、組織の継続的な成長や存続に欠かせないものであり、組織で活動するすべての人が、これを理解しそれぞれの立場・役割で活かすことが大切である。
 本科目では、経営管理の基本的な考え方・理論、技法についての理解を深めるとともに、その知識を実践にどのように活用するかについて考察する。

科目の到達目標

- ①経営管理の基本概念を説明できる。
- ②経営戦略から、ヒト、モノ、カネ、情報といった経営資源のマネジメント・ノウハウに至り、経営学の全体像を体系的に把握することができる。

テキスト 『基礎からわかる経営管理』 欧陽 菲, 産業能率大学出版部, 2015年

テキストの読み方

- ①本テキストは、経営管理に含まれる主な内容を実践的・体系的に網羅しているので、学習する前と後に目次をよく読み、経営学の全体像を体系的に把握する。
- ②経営管理に関する用語と主な理論を正確に理解する。
- ③全体最適の視野で自組織または興味のある企業の経営のあり方を自ら診断してみる。

単位修得の方法

レポート課題（基本・応用）を提出し、それぞれ60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、4単位を修得できる。

専門教育科目

講義科目

授業科目名	チームワークの心理学	科目コード	配当年次	単位
担当教員	永山 祐輔	EH45	3・4	2
科目の概要				
<p>近年まで日本人はチームワークを発揮するのが得意だと言われてきた。しかし成果主義が導入されてから、自己の業績を重視することや自分さえミスをしなれば良い、というような認識が浸透してしまった組織も多い。</p> <p>本科目では、社会心理学の領域が扱う集団研究の成果を踏まえ、「個人」「集団」を超えた優れたチームワークを発揮するための様々な知識・方法について理解を深める。</p>				
科目の到達目標				
<p>① チームワークの概念や基本的理論を理解し、チームワークの本質を十分理解することができ、適切な表現で記述することができる。</p> <p>② 本科目で得た知識・理論・方法論に基づき、自分自身の体験を分析し考察して、自らの省察力を高め、良好なチームワークを築くことができる。</p>				
テキスト	『チームワークの心理学』山口 裕幸,サイエンス社,2008年			
テキストの読み方				
<p>① 「集団」や「社会」、「チーム」などの概念を整理し、説明できるようにする。</p> <p>② 各章で記述されている研究成果や理論を十分に知り、端的に説明できるようにする。各章で、“人名(年号)”と記述されている箇所は、先行研究の成果や理論などについて述べられている。例えば、テキストp.9“広田(1981)”の部分では、集団の定義について述べられている。こうした部分を重点的に学習しておくことよ。</p> <p>③ 第1章「概念」、第2章「測定」、第3章「発達」、第4章「効果」、第5章「育成」についてまとめられている。それぞれを整理した上で理解し、相互の関係について自分なりに考える必要がある。</p> <p>④ 組織やチームの問題や、組織やチームを扱う社会心理学の利点・欠点などを理解する。</p>				
単位修得の方法				
<p>レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。</p>				

専門教育科目

講義科目

授業科目名	スポーツに学ぶチームマネジメント	科目コード	配当年次	単位
担当教員	上代 圭子	EH30	3・4	2
科目の概要				
<p>スポーツの現場では、監督、チームメイト、対戦相手はもちろんのこと、審判や天候にいたるまで、複雑な条件の中で、メンバーの能力を最大限に引き出し、なおかつ成果（＝勝利）をあげなければならない。</p> <p>本科目では、サッカー、野球、ラグビー等、様々なスポーツの事例を通して、組織における「成果を出すためのチームマネジメント」「勝つためのリーダーシップ」「強い『個』を活かすマネジメント」について学習する。</p>				
科目の到達目標				
<p>①チーム（組織）におけるマネジメントの概略（リーダーシップ、戦術・戦略等）を理解し、説明できる。</p> <p>②スポーツの事例を基に、スポーツの現場で起きていることを想定し、成果を出すための方策を考案・提示できる。</p>				
テキスト	<p>『スポーツで学ぶマネジメントとリーダーシップ』水谷 尚人 他, 産業能率大学, 2009年 『ケースで考えるチームマネジメントのセオリー』水谷 尚人 他, 産業能率大学, 2009年</p>			
テキストの読み方				
<p>①『スポーツで学ぶマネジメントとリーダーシップ』は、組織のマネジメントという観点で重要となるキーワードを挙げ、解説している。</p> <p>②『ケースで考えるチームマネジメントのセオリー』は、4つの事例より、スポーツ組織とそのマネジメントの現実を学び、そこにあてはまる様々な学術的なセオリーを用いて解説している。</p> <p>③テキストを通じて、スポーツにおける組織のマネジメントについての知識を得ることと同時に、それが一般のビジネス界、また学生生活においても適用できる知識とスキルであるという認識で、日常生活においても実践して見ていただきたい。</p>				
単位修得の方法				
<p>レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。</p>				

授業科目名	ラグビー日本代表を変えた「心の鍛え方」	科目コード	配当年次	単位
担当教員	野間 健司	EB69	3・4	4
科目の概要				
<p>ラグビー・ワールドカップで五郎丸歩選手がキックを蹴る前に必ず行ったポーズ「プレ・パフォーマンス・ルーティン」が話題となった。それは究極のパフォーマンスを引き出すためのメンタルスキルであり、今日のスポーツ界ではメンタルスキルの習得が不可欠とされている。スポーツの世界だけでなく、ビジネス分野においてもメンタルスキルの有無はパフォーマンスの違いを創り出す。</p> <p>本科目では、五郎丸歩選手が学んだメンタルスキルを学び、さらにビジネス分野で活用されるモチベーションスキルについての理解・習得を目指す。</p>				
科目の到達目標				
<p>①メンタルスキル（パフォーマンスを発揮できる心理状態を創り出すスキル）やモチベーションマネジメントスキル（意欲を高めるスキル）の基本的な知識が習得できる。</p> <p>②ビジネスや日常生活で活用できる実践的なメンタルスキル、モチベーションマネジメントスキルが習得できる。</p>				
テキスト	<p>『ラグビー日本代表を変えた「心の鍛え方」』 荒木 香織, 講談社, 2016年 『モチベーション・マネジメント』 榎本 博明, 産業能率大学出版部, 2015年</p>			
テキストの読み方				
<p>①『ラグビー日本代表を変えた「心の鍛え方」』を読み、メンタルスキルについて理解するとともに、自身への適用方法を考える。</p> <p>②上記①を踏まえ『モチベーション・マネジメント』を読み、モチベーション・マネジメントの基本知識を理解するとともに、自身への適用方法を考える。</p>				
単位修得の方法				
<p>①レポート課題（基本・応用）を提出し、それぞれ60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、4単位を修得できる。または、</p> <p>②基本レポートを提出し、60点以上であれば合格となり、スクーリングを受講できる。スクーリングに合格すると、評価が確定し、4単位を修得できる。この場合、応用レポートの提出は不要。</p>				

授業科目名	運動で脳と気持ちを鍛える	科目コード	EJ79	配当年次	3・4	単位	2
担当教員	江口 潤						
科目の概要							
<p>私たちは運動をすると気分が良くなることを経験しているが、なぜそのような変化が起こるのだろうか。運動は私たちの考え方や感じ方にとって、なぜ大切なのだろうか。</p> <p>本科目では、運動が認知能力と心の健康に強い影響力をもっていることを学ぶ。本科目を通じて生涯運動を継続することの重要性を知ること、社会生活の中で自分自身がどのように応用できるかを考える。</p>							
科目の到達目標							
<p>①運動が脳にもたらすさまざまな効果を理解し、説明できる。</p> <p>②理解した事柄を、自身の社会生活の中で応用することができる。</p>							
テキスト	『脳を鍛えるには運動しかない！最新科学でわかった脳細胞の増やし方』ジョン J. レイティ/エリック ヘイガーマン, NHK出版, 2009年						
テキストの読み方							
<p>①テキストには運動が脳に与える影響について、研究知見や事例に基づいて説明されている。専門用語については、テキスト末尾の用語解説を参照しながら読み進めると良い。</p> <p>②学習者として、自身が日常生活の中で応用することを意識した読み方が望まれる。</p>							
単位修得の方法							
<p>レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。</p>							

専門教育科目

講義科目

授業科目名	リーダーシップ論	科目コード	配当年次	単位
担当教員	橋本 琢磨	EK18	3・4	2
科目の概要				
<p>組織がフラット化・動態化する傾向にある今日、リーダーシップは管理職にはもちろん、実務の中心を担う中堅社員にも強く求められている。</p> <p>本科目では、学習者自身が持つ「強み」をベースにしながら、独自のリーダーシップについて考えていく。また、リーダーシップの開発を通して「ビジネスパーソンとしての成長」についても考察する。</p>				
科目の到達目標				
<p>①リーダーシップの実践に関する基本的な項目を理解でき、リーダーシップやフォロワーシップに関する研究者の理論や実践家の持論について、具体的に説明できる。</p> <p>②今日においてリーダーシップがなぜ大切であるかを理解するとともに、リーダーシップに関する重要な考え方を系統立てて指摘できる。</p>				
テキスト	<p>『実践と成長のリーダーシップ』金井 壽宏, 産業能率大学, 2015年 『リーダーシップ・セオリー・ジャングル』金井 壽宏, 産業能率大学, 2015年</p>			
テキストの読み方				
<p>①テキスト『実践と成長のリーダーシップ』では、持論づくりの大切さとともに、研究者によるリーダーシップの理論が、どのように今日の状況に合わせて発展してきたかを系統立てて理解する。</p> <p>②テキスト『リーダーシップ・セオリー・ジャングル』では、他者の持論から学ぶとともに、それをどのように自己のリーダーシップの開発に結びつけるかを理解していく。</p> <p>③2冊のテキストを通じて、変革の時代における今後の自己のキャリア開発を志向しながら、学んだ理論に基づいて、実践的にリーダーシップの成長のあり方を確認していく。</p>				
単位修得の方法				
<p>レポート課題（基本）を提出し、それぞれ60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。</p>				

専門教育科目

講義科目

授業科目名	組織行動論	科目コード	配当年次	単位
担当教員	齊藤 弘通	EJ51	3・4	2

科目の概要

組織行動論とは、組織内で人々が示す行動や態度についての体系的な学問領域である。現代社会においては様々な組織と関わりを持って生きていかなければならない。組織行動論は組織内での対人関係スキルを向上させるための手助けとなる。

この科目では、組織と人との関わりや組織における人間行動を、応用行動科学（心理学、社会学、社会心理学、人類学、政治科学など）の理論を使いながら解き明かしていく。

科目の到達目標

- ①組織行動論の全体を把握するとともに、組織行動の基礎的知識・理論を理解することができる。
- ②組織行動論を学ぶことで、自分自身に関わる困難かつ長期的な個人行動や集団行動の変化を促進させることができる。

テキスト	『組織行動論 ベーシックプラス』開本 浩矢, 中央経済社, 2019年
------	-------------------------------------

テキストの読み方

- ①組織行動論に関する知見が体系的に記述されている。主な内容は、「モチベーション、組織コミットメント、意思決定と合意形成、キャリア・マネジメント、組織市民行動、組織ストレス、チーム・マネジメント、リーダーシップ、組織学習、組織変革、組織文化、組織的公正、ダイバーシティ・マネジメントなど」である。
- ②テキスト内容はできるだけ現代的な話題になるように工夫されている。受講者は、日常の行動にどう応用していくかを考えながら読んでいくことが求められる。

単位修得の方法

- ①レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。
- または、
- ②iNet スクーリングを受講し、合格すれば2単位を修得できる。この場合、レポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。

授業科目名	組織変革論	科目コード	配当年次	単位
担当教員	齊藤 弘通	EJ52	3・4	2

科目の概要

組織内外の様々な環境要因に適応するため、組織を望ましい状態に変化させていくプロセスを「組織変革」と言う。組織変革の対象となるものは、「戦略」「技術」「組織構造」「職務」「人」と多岐にわたり、組織変革の実行においては、戦略や構造、制度など、組織のハード面の変革にとどまらず、組織メンバーの意識や価値観、行動規範など、組織のソフト面の変革にも着手することが求められる。本科目では、こうした組織のソフト面の変革の重要性を踏まえ、組織変革を推進するチェンジ・エージェントの育成と活用を中心に、組織変革の実効性を高めるための具体的な考え方と方法論を学ぶ。

科目の到達目標

- ① 組織変革の必要性、組織変革に向けた取り組み（変革プログラム）の設計・運用上のポイント、変革プログラムの推進体制、組織変革を推進するチェンジ・エージェントの役割や活動イメージ、変革の内容を現場に浸透・定着させる上での方法や留意点について説明できる。
- ② 学習した事柄を、自身の仕事上の課題や自組織の課題解決に応用することができる。

テキスト 『組織変革実践ガイド』 齊藤 弘通 他, 産業能率大学出版部, 2005年

テキストの読み方

- ① 第1章、第2章は組織変革の必要性や組織変革に向けた取り組み（変革プログラム）の推進体制について述べられている。第3章以降の前提となる章となっているため、内容をよく理解して欲しい。
- ② 第3章、第4章、第5章は、組織変革に向けた取り組み（変革プログラム）を進めていくための具体的な方法について詳述されている。変革プログラムを推進する個々の関係者の役割や動きに着目しながら読んでいただきたい。
- ③ 第3章、第4章では、架空の企業を題材とした組織変革のケース（事例）が記載されている。ケースを読むことで、組織変革に向けた取り組みの具体的なイメージをつかむことができるだろう。

単位修得の方法

- ① リポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。または、
- ② スクーリングを受講し、合格すれば2単位を修得できる。この場合、リポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。

専門教育科目

講義科目

授業科目名	チームマネジメント	科目コード	配当年次	単位
担当教員	北山 勝英	EK19	3・4	2
科目の概要				
<p>生産性向上のキーワードとされている心理的安全性に対する考え方を理解する。日本の企業はバブル崩壊以後、長らく世界の他の先進国と比較して、生産性の低い状態が続いている。その原因としては、提供している製品サービスのあり方や、生み出し方の改革がなされていないことが考えられる。時代の先を行く改革を企業が生み出すには、そこで働く人の集合知が求められる。その集合知を生み出す際に必要なのが組織の心理的安全性である。</p> <p>本科目では心理的安全性を高めるための方法や事例を、チーム作りの観点や時間の使い方の観点など様々な切り口で学習する。</p>				
科目の到達目標				
<p>①生産性の高いチームの特性と心理的安全性の高さとの関係を理解できる。</p> <p>②心理的安全性を高めていくためのルールのあり方を理解できる。</p> <p>③価値観ベースや本音ベースの会話が、心理的安全性を高めてくれることを理解できている。</p> <p>④生産性を高めるための仕組みの作り方や、管理者としてのあり方を理解できている。</p>				
テキスト	『世界最高のチーム』ピョートル・フェリクス・グジバチ, 朝日新聞出版, 2018年			
テキストの読み方				
<p>①6章構成になっており、それぞれの表題のキーワードが、第1章：ルール作り、第2章：もめごとへの対応、第3章：良質な会話の仕方、第4章：チーム時間の使い方、第5章：生産性をあげる方法、第6章：生産性をあげる仕組みづくりとなっている。それぞれのポイントをまとめるように読んでくると理解が進む。</p> <p>②心理的安全性が生産性向上にどう影響を与えるのか、その関係性を理解すべく読んでほしい。</p>				
単位修得の方法				
<p>レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。</p>				

専門教育科目

講義科目

授業科目名	性格心理学（パーソナリティの理解）	科目コード	配当年次	単位
担当教員	高桑 将太	EB81	3・4	4

科目の概要

私たちは、さまざまな人とかかわりながら暮らしている。そのなかで、他者と自分が似ていると感じることもあれば、自分とタイプが全く違うと感じることもある。そこで想定されているのはパーソナリティである。性格心理学(パーソナリティ心理学)はそのような疑問に対して、何らかのヒントを与えてくれる学問である。

本科目では、パーソナリティの諸理論や対人関係に現れるパターン、病理やパーソナリティの理解の方法などを学んで、個人の心の動きや行動の背後にある法則性を明らかにすることを目的とする。

科目の到達目標

- ① パーソナリティの基本的な知識を理解し、自分の言葉で説明できる。
- ② パーソナリティ心理学の知識を日常生活において、自己理解と他者理解のために使うことができる。

テキスト	『わかりやすいパーソナリティ心理学』榎本 博明，サイエンス社，2020年
------	--------------------------------------

テキストの読み方

- ① テキストは、初学者に対しても読みやすいものになっているので、まずは日常生活と関連させながら、通読することをおすすめする。
- ② 太字で示されている単語は重要な用語や概念であるため、定義を自分なりの言葉で説明できるようにする。
- ③ パーソナリティ心理学の用語は、学問の性質上、心理学の他領域にも重要用語として示されていることが多い。人物や検査方法などは、他領域の書籍やインターネットなどを利用して、視覚的に覚えると良い。

単位修得の方法

- ① リポート課題（基本・応用）を提出し、それぞれ60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、4単位を修得できる。または、
- ② 基本リポートを提出し、60点以上であれば合格となり、スクーリングを受講できる。スクーリングに合格すると、評価が確定し、4単位を修得できる。この場合、応用リポートの提出は不要。

専門教育科目

講義科目

授業科目名	消費者心理学	科目コード	配当年次	単位
担当教員	藤浪 遼太郎	EK30	3・4	2
科目の概要				
<p>消費者行動の理解は、全ての事業・戦略立案、運営における最も中核的な指標である。そして、そのような消費者行動を理解するには、社会心理学や認知心理学、それらの関連諸分野の多くの研究知見を理解することが必要であるだろう。</p> <p>本科目では、マーケティングの基礎的な心理学的事象(商品に関する消費者の認知)と、物語広告に関する物語説得のメカニズムとマーケティングへの応用可能性を学ぶ。加えて、実際に物語(映画)を作成する際の具体的な方法論を理解し、社会心理学・認知心理学との親和性について考察する。</p>				
科目の到達目標				
<p>①マーケティングにおける基礎的な心理学的事象に対して、適切な用語による理解ができる。</p> <p>②心理学的な知見を、マーケティングへ現実的に応用できる視点を身につけることができる。</p>				
テキスト	『消費者の心理をさぐる 人間の認知から考えるマーケティング』米田 英嗣(編), 和田 裕一(編), 誠信書房, 2020年			
テキストの読み方				
<p>①消費者行動の理解に取り組んできたこれまでの研究を踏まえて、消費者行動の背後に存在する問題意識を仮説として設定し、実験・調査、分析、結果に対する考察まで一連の過程を定義された用語を用いて説明をできるようにする。</p> <p>②テキストの1章から6章では、消費者行動に関わる様々な視点から問題が設定され、それを解決するための心理学研究の知見が紹介されている。全体を通して大きく以下の2つのテーマで構成されている。</p> <p>I. マーケティングに関する基礎的な心理学的事象の紹介(第1章～第3章)</p> <p>II. 物語広告に関する基本的機構から応用可能性の紹介(第4章～第6章)</p> <p>それぞれの章では消費者、生産者のそれぞれの立場からマーケティングにおける課題を見つけ仮説を設定し、有益な知見を導き出すプロセスが紹介されている。そのプロセスを自らの身近なマーケティングにおける課題解決に対して応用できるようにする。</p> <p>③第7章では、実際に物語を作成する実例をもとに、心理学との親和性について理解し、説明ができるようにする。</p>				
単位修得の方法				
<p>レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。</p>				

専門教育科目

講義科目

授業科目名	産業・組織心理学	科目コード	配当年次	単位
担当教員	兼高 聖雄	EB39	3・4	4

科目の概要

産業・組織心理学が、これまでに蓄えてきた研究知見には、企業・病院・大学・官公庁・地方自治体などの組織で働く社会人が、日々の仕事を遂行していくうえで有益な理論やモデルが数多くある。

本科目は、組織行動、人事心理学、作業心理学、消費者心理学の4つの領域にわたり、“理論と実践の橋渡し”をする。単なる理論やモデルの解説にとどまらず、できるだけ具体例や実践事例、実証調査の結果などを盛り込み、組織が人間や集団に与える心理面での特性や組織における人間行動について学習する。

科目の到達目標

- ①組織と呼ばれる集団のメカニズムを理解でき、組織の集合体としての産業を概観することができる。
- ②職場のモチベーションやリーダーシップの重要性を理解し、職場のメンタルヘルスの維持や改善方法を提案できる。

テキスト	『社会人のための産業・組織心理学入門』高橋 浩 他, 産業能率大学出版部, 2013年
------	---

テキストの読み方

- ①産業・組織心理学は、心理学の分野の中で「応用分野」とされる。テキストでは、今までに発見されてきた基本的な心理学理論や研究を実際の場面で応用した事例が多く示されている。
- ②事例研究の場合、条件が限定されていたり、環境設定が固定化されていたりするので、すべてのケースに当てはまるわけではないが、人間の行動特性をとらえることには役立つ。
- ③テキストを読むときは、自分に当てはめて考えると理解が深まる。自分の行動が人間行動の標準かどうかを感じながら、他者の行動を観察していくのも興味を高めるコツだと言えよう。

単位修得の方法

- ①レポート課題（基本・応用）を提出し、それぞれ60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、4単位を修得できる。または、
- ②基本レポートを提出し、60点以上であれば合格となり、スクーリングを受講できる。スクーリングに合格すると、評価が確定し、4単位を修得できる。この場合、応用レポートの提出は不要。

専門教育科目

講義科目

授業科目名	ビジネス心理学入門	科目コード	配当年次	単位
担当教員	齊藤 弘通	EH94	3・4	2

科目の概要

ビジネス心理学とは、経営組織で働く人々の行動や集団での活動について、主に組織心理学の理論、概念を用いながら問題解決を図っていく学問である。
 具体的には、「人のモチベーション」、「人材の採用・評価」、「人材育成」、「自己認知とキャリア開発」、「職場におけるコミュニケーション・意思決定」といったテーマを取り上げ、当該テーマに関わる主要な心理的概念や理論について学習する。

科目の到達目標

- ①組織の定義や組織における人間観の変遷、組織の中で働く人々の採用・評価、育成、動機づけ、キャリア開発、職場の人間関係やコミュニケーション、意思決定、組織におけるリーダーシップなどに関わる心理的概念や理論について説明できる。
- ②学習した理論、概念を、自身の仕事上の課題や自組織の課題解決に応用することができる。

テキスト 『ビジネスでいちばん大事な「心理学の教養」』酒井 穰, 中央公論新社, 2013年

テキストの読み方

- ①テキストの第1章、第5章、第6章は人材の採用・評価、育成、動機づけに関する心理的な概念について記載されている。これらは内容的に関連性が深いため、連続して読むと理解がしやすいだろう。
- ②テキストの第2章、第3章、第7章は営業・マーケティング、イノベーション、リスク管理に関する心理的な概念について記載されている。自身の仕事や自組織の課題と照らし合わせながら読むと理解が深まるだろう。
- ③各章末に記載されているコラムにも本科目で学ぶ重要な概念が記載されているので、丁寧に読み、理解を深めること。

単位修得の方法

- ①レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。
 または、
- ②スクーリングを受講し、合格すれば2単位を修得できる。この場合、レポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。

専門教育科目

講義科目

授業科目名	行動心理学	科目コード	配当年次	単位
担当教員	杉浦 齊	EJ19	3・4	2

科目の概要

行動心理学では、実際に観察できる行動から人間の心理をとらえようとする。つまり、人の振る舞いやしぐさ、言動などといった見聞きできる行動から、その背後にある人間の心理を明らかにする。人間関係をスムーズにする方法、行動からわかる性格と心理、恋愛でうまくいくテクニック、ビジネスで成功するコツ、モノを買う時の消費者行動など、身の回りのさまざまな場面で役立てることのできる行動心理学の知識を学ぶ。

科目の到達目標

- ①実際に観察できる行動から自分の心理や他者の心理を理解することができる。
- ②自分や他者の行動の背後にある心理を理解することで、自己理解を進めるとともに、より良い人間関係を築くことができる。

テキスト	『今日から使える行動心理学』 齊藤 勇, ナツメ社, 2015年
------	----------------------------------

テキストの読み方

- ①テキストは、人づきあい、仕事、恋愛など日常に関連するわかりやすいテーマを数多く取り上げている。
- ②テキストは最初から通読してもよいが、自分が興味をもった箇所から読み進めても構わない。
- ③テキストに記述されている内容と日常的に観察できる振る舞いやしぐさ、言動、消費行動などを照合することで、理解を深めてほしい。

単位修得の方法

レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。

専門教育科目

講義科目

授業科目名	アドラー心理学	科目コード	配当年次	単位
担当教員	仲 あかね	EH95	3・4	2

科目の概要

「腹が立ったので怒鳴ったのではなく、怒鳴るために腹を立てたのだ」「嫌われることは自由に生きるために支払わなければならない代償である」—心理学者アルフレッド・アドラー博士によって創始されたこのような独自の考え方に基づく心理学は、アドラー心理学と呼ばれ、近年再び注目を集めている。アドラー心理学の特色は、正常とは何か、幸福とは何かなど哲学的な課題も扱っている点である。
この科目では、「人間の悩みはすべて対人関係の悩みである」とするアドラー心理学のエッセンスを読み解き、どうすれば幸福に生きていけるのかを考えていく。

科目の到達目標

- ①一般に常識として受け入れられている、「ほめる・叱る」の教育や、原因に基づき結果があるとする原因論に異議を唱えるアドラー心理学の概要が理解できる。
- ②一面的なものの見方から脱却し、人間関係や人生に対する新たなヒントを得るとともに、どうすれば自分の人生を生き、幸福になれるか、アドバイスを得ることができる。

テキスト 『アドラー心理学入門』岸見 一郎, KKベストセラーズ, 1999年

テキストの読み方

- ①テキストは、育児や教育を題材にアドラー心理学の考え方を説明しているが、これらは対人関係全般にあてはまるものとして読み変えて学習を進めていくこと。
- ②テキストには具体例が挙げられており、それを自分の身近な例に置き換えて考えながら理解を進めていくこと。
- ③上記を踏まえ、自分の今後の行動や人生への取り組み姿勢を見直してみるとよい。

単位修得の方法

レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。